

年頭のごあいさつ

New year's greetings 2019



高島市長
福井 正明

市

民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。
平成31年の輝かしい新春を健やかに
お迎えのこととお慶び申し上げます。
さて、2期目の市政をお預かりさせていただいてからまもなく3年を迎えようとしています。

そのような中で、昨年には長年の懸案でありました市役所本庁舎の整備につきまして、市民の皆さまからさまざまなご意見をいただきながら、ようやく、昨年の10月から増築整備工事が完了しました新館で業務を開始し、同時に、本館につきまして、必要な改修工事を行った上で、本年5月には今津地域や安曇川地域に所在している部署を統合し、本庁機能が一か所に整うこととなります。

また平成26年6月に発覚しました環境セクターにおけるダイオキシン類超過事案につきまして、市民の皆さまはもとより、近畿各府県や関係各諸団体に多大なご迷惑をおかけしたところでもあります。市民の皆さまの日常

明

けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、平成最後の新年をお健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は全国各地で多くの災害が発生しました。記憶に新しいところでは、北海道胆振東部地震災害や西日本豪雨災害がありますが、南岸低気圧による関東甲信越地域の大雪、8月の猛暑による農作物被害など、全国的にも記録に残る『災い』の年でありました。とりわけ市におきましては、台風21号の暴風により家屋・工作物の損壊や倒木による交通・電気の遮断、果樹の倒伏等、甚大な被害が発生しました。

被災された皆さまに改めてお見舞い申し上げますとともに、早急な復旧を願うものでもあります。

こうした中、市では議会の重い判断のもと市庁舎の増改築を進め、本年5月からは、分散していた都市建設部と教育委員会事務局が移転し、一体的・効率的な業務が行われるこ



高島市議会議長
廣本 昌久

生活をお支えするごみ処理行政は極めて重要な行政課題であることから、さまざまな角度から検討や議論を重ね、市単独での環境センターの設置を決定したところであります。そのため、建設予定地につきまして、公募方式によることとし、昨年8月から10月末までの3か月間の公募期間中は、市内の各区あるいは自治会で役員会などを開催いただく中で、ごみ処理行政の課題を自らの問題としてご認識いただき、熱心なご議論のもと2つの地域からご応募いただきましたことに対して、改めて心から感謝申し上げます。

その上で、昨年末には高島市ごみ処理施設建設検討委員会の答申を踏まえ、建設予定地を高島市朽木宮前坊に決定させていただきました。今後は、平成37年度末を目標に新たなごみ処理施設を建設するための準備にとりかかる次第であります。

一方で、急速に進行する人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくため、昨年もいくつかの企業誘致に挑戦してまいりました。

合併後15年目を迎えますが、めまぐるしく変化する社会情勢に伴い、高島市も大きな転換期を迎えようとしています。高島の将来をしっかりと見据えながら、次なるステージへ導いていくために、本年も全力で市政運営に取り組んでいく所存です。

新年の門出にあたり、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

とになります。市民サービスの向上はもとより、災害拠点本部として、市民の安全で安心な暮らしを守っていただくことを期待するものであります。

また、昨年11月14日に発生いたしました饗庭野演習場境界付近への砲弾の着弾事案につきまして、議会では再発防止と安全対策の徹底を求める意見書を全会一致で可決しました。直ちに防衛大臣に面会し、意見書を手渡すとともに、住民の安心、安全を第一に考えていただくよう要請いたしました。

地方行政において、議会は、二代表制の一翼を担い、執行機関と独立、対等の関係に立ち、相互に緊張感を保ちながら、ともに協調して市の発展と福祉の増進を図ることが求められています。

新しい時代へと移り変わろうとしている本年、市をどのようにして持続可能なものにしていくのか、議会で議論を尽くすことがますます重要になってくると思えます。

私は、議長就任時の挨拶で、開かれた議会、見える議会、市民と向き合い市民の声を反映できる議会として、議会の活性化と議会運営の向上に努めることを申し上げました。引き続き、市民の皆さまの負託に責任をもって応えられるよう、尽力してまいります。

年のはじめにあたり、市民の皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げますとともに、議会に対しまして、さらなるご支援をお願いいたします。新年のご挨拶とさせていただきます。